

1. サービス見込量と介護保険料について



加賀市市民健康部介護福祉課

令和6年2月8日

サービス量の推計及び介護保険料の算定にあたり、考慮すべき事項

①第1号被保険者(65歳以上)数の減少(+)

※65歳以上の高齢者数減少に伴い、介護保険料収納額の減額

②介護報酬改定(令和6年4月～)(+)

※令和6年度の報酬改定率+1.59%(介護保険サービス全体)

③保険料負担割合(令和6年4月～)

※第1号被保険者の介護保険事業費に占める保険料負担割合は第8期と同じ23%。

④低所得者の保険料軽減(令和6年4月～)(+)

※低所得者の負担軽減のため、所得第1段階から第3段階の方に対する保険料の軽減を第8期より継続して実施。

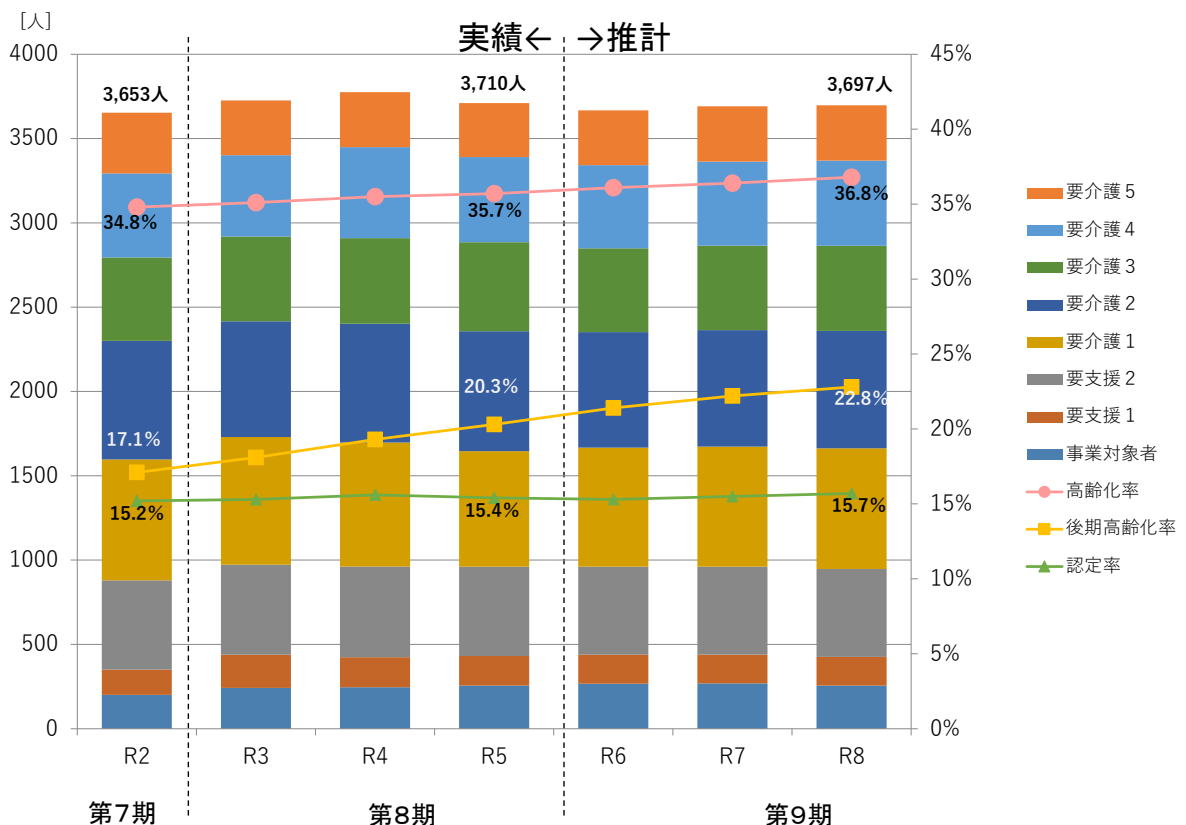
⑤介護予防事業等の成果による認定者数の推移(-)

※要支援・要介護認定者数の推移について、介護予防事業等の成果を加味する。

※(-): 保険料へ与える影響がマイナス(減額)

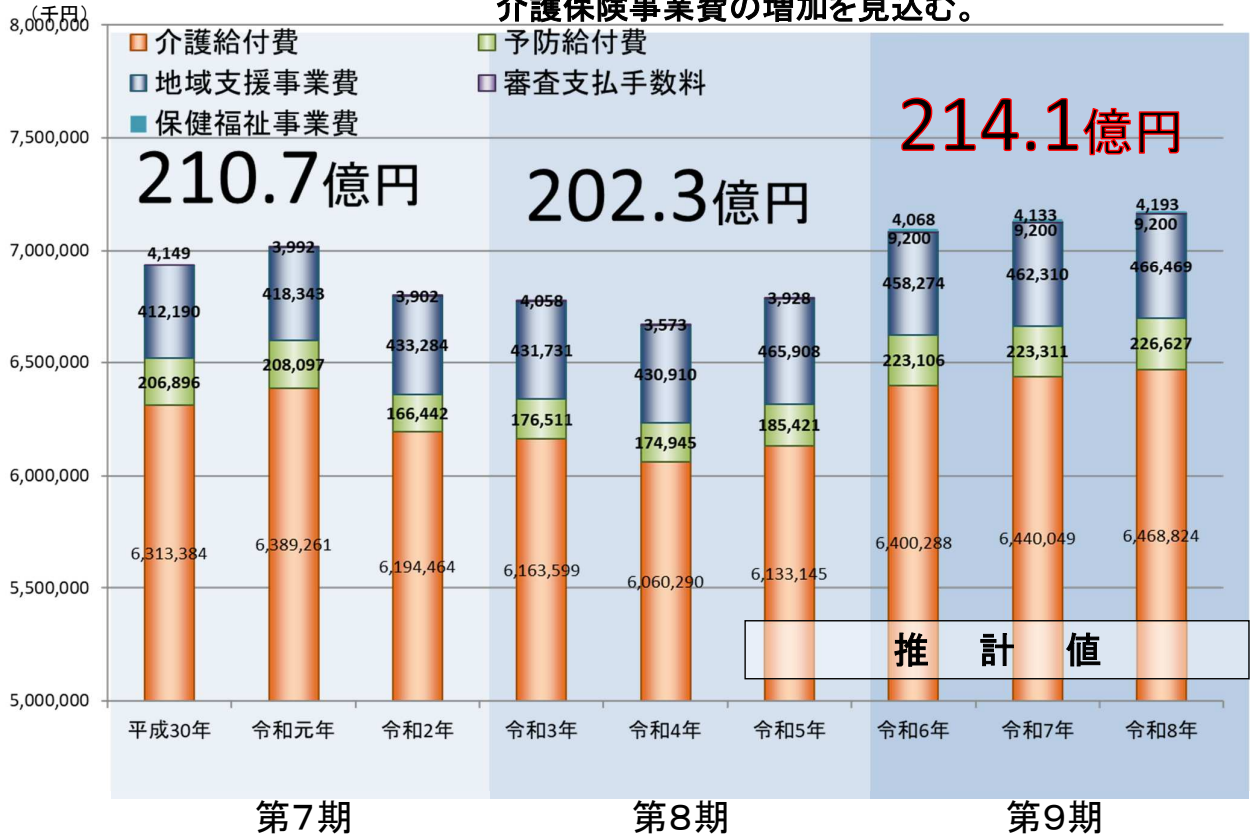
※(+): 保険料へ与える影響がプラス(増額)

要介護認定者数と高齢化率の推移



介護保険事業費の推計

介護報酬の改定や介護サービスの充実等の要因により
介護保険事業費の増加を見込む。



第9期計画期間に**214.1億円**の介護保険事業費を見込む

保険料の考え方

今後3年間の
介護保険事業費



65歳以上の
負担分



65歳以上の
延べ人数



= 加賀市の保険料

介護保険事業調整基金について

介護保険特別会計の毎会計年度において歳入歳出の決算上生じた余剰金

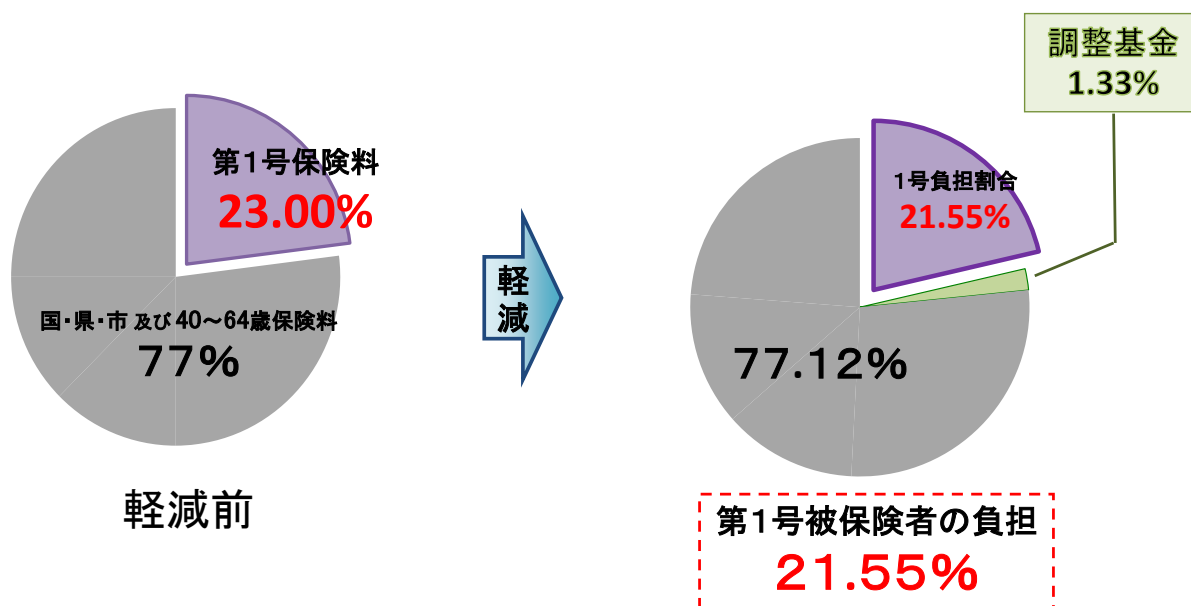
第7期末 調整基金 差引現在高	7.0億円
第7期基金積立予定額	4.1億円
第8期末 調整基金 差引現在高（見込）	11.1億円

第8期末の介護保険事業調整基金 残高

11.1億円

約2.9億円の基金を投入し、保険料を引き下げる

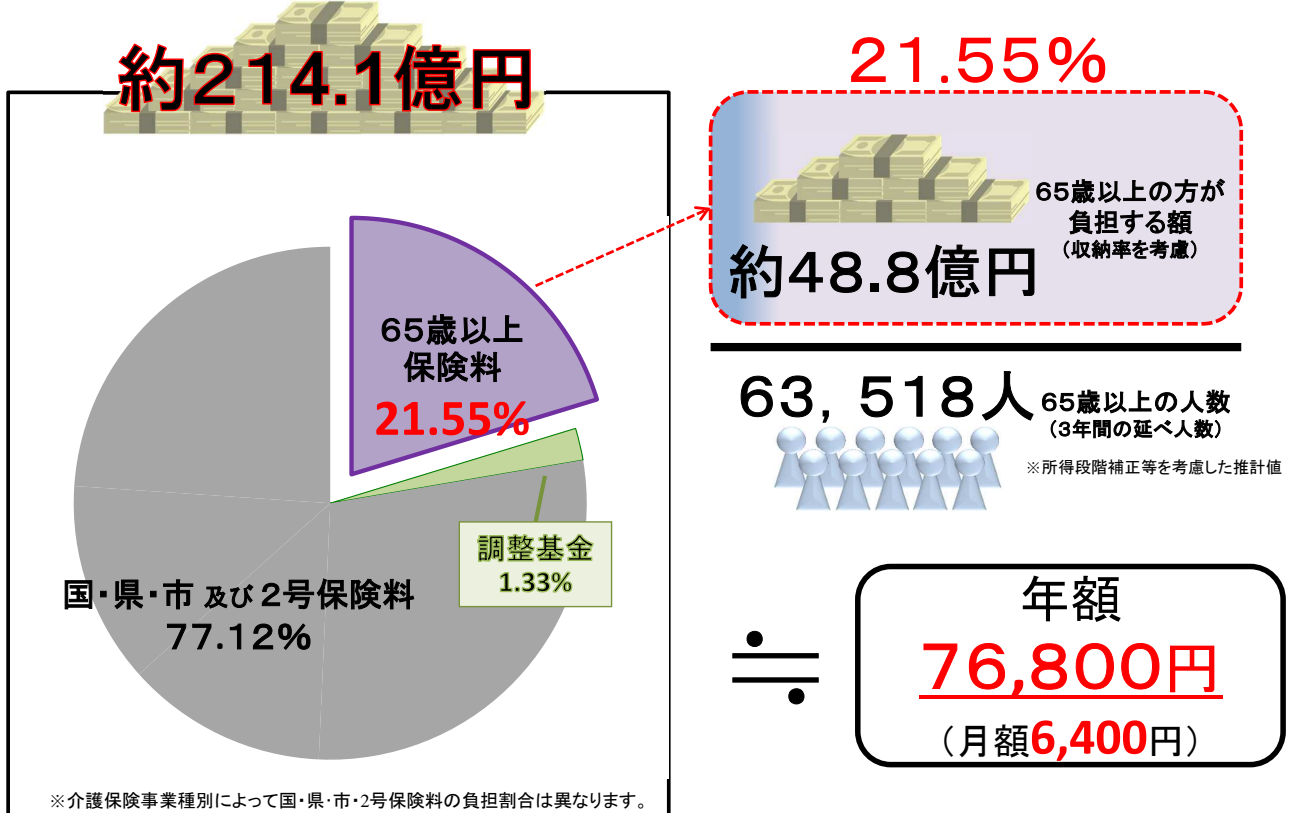
第1号被保険者（65歳以上）の保険料の軽減



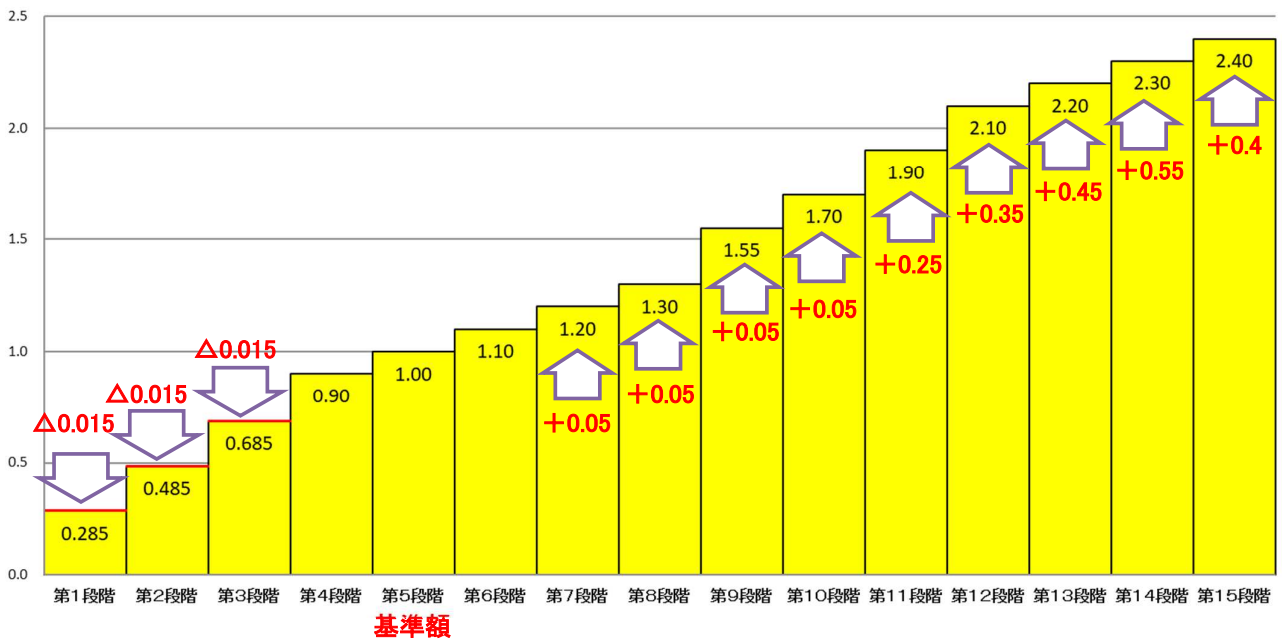
介護保険事業調整基金 第8期計画期間までに積み立てた介護保険料の余剰分の取り崩し

加賀市の第9期介護保険料

3年間に使う介護保険の費用の見込み



第9期介護保険料 所得多段階のイメージ



低所得者層の保険料軽減を行うため、高所得者層を細分化するとともに乗率を引き上げる。

所得段階別の介護保険料

第8期 (令和5年度)

所得段階	乗率	保険料額	
		年額	月額(参考)
1段階	0.30	23,040	1,920
2段階	0.50	38,400	3,200
3段階	0.70	53,760	4,480
4段階	0.90	69,120	5,760
5段階(基準額)	1.00	76,800	6,400
6段階	1.10	84,480	7,040
7段階	1.15	88,320	7,360
8段階	1.25	96,000	8,000
9段階	1.50	115,200	9,600
10段階	1.65	126,720	10,560
11段階	1.75	134,400	11,200
12段階	2.00	153,600	12,800



第9期 (令和6~8年度)

所得段階	乗率	保険料額	
		年額	月額(参考)
1段階	0.285	21,880	1,824
2段階	0.485	37,240	3,104
3段階	0.685	52,600	4,384
4段階	0.90	69,120	5,760
5段階(基準額)	1.00	76,800	6,400
6段階	1.10	84,480	7,040
7段階	1.20	92,160	7,680
8段階	1.30	99,840	8,320
9段階	1.55	119,040	9,920
10段階	1.70	130,560	10,880
11段階	1.90	145,920	12,160
12段階	2.10	161,280	13,440
13段階	2.20	168,960	14,080
14段階	2.30	176,640	14,720
15段階	2.40	184,320	15,360

保険料基準額の推移

